

## 山行報告書

山行管理部

### 公開山行 金剛山 4月28日

CL田中、SL福永、亀谷、関 参加) 37名  
南海難波 8:02=河内長野 8:30 バス 8:45~金剛登山口 9:15…  
セト 10:56…金剛山頂 11:50(食事)12:30 出…久留野峠 14:30…  
ロープウェイ前バス停 15:05(解散) バス~河内長野

下見の時、バスに乗りきれぬのか不安があったので南海バスに臨時バスを出してもらえるのか問い合わせたが「乗り切れない場合は次のバスに乗ってください」と言われていたがなんとか全員乗ることができた、あくる日から春山山行があったのでいつもより少し参加が少なかったことが幸いした、公開山行とバス利用悩ましい問題。  
(田中 記)

### 春山特別山行 4/29(月)~5/1(水)

大阪・静岡県春山交流ハイキング 天城山 参加者11名

4/29 JR 新大阪駅 07:30 → 09:56 三島駅 <sup>貸切バス</sup> → 11:20 城山登山口 ~  
12:25 城山(昼食) 13:00 ~ 14:25 発端丈山 ~ 15:45 長浜(下山)

伊豆ハイキングクラブ3名との交流山行

19:20~20:30 静岡県連会長 竹本氏(全国連盟リニア中央新幹線事務局長)による講演「リニア中央新幹線の現状と問題点」

4/30 雨のため交流山行は中止。城ヶ崎海岸他散策

(計画では、伊豆ハイキングクラブ22名、静岡安倍っ子山の会12名、きたろう12名、合計46名での交流山行。)

5/1 午前中散策(柿田川の湧き水から沼津港へ)

リニア中央新幹線の現状と問題点を聞くことと、静岡県連との交流を図るため竹本氏に講演をお願いして計画したわけだが、本番(4/30)の三つの会による交流山行は、雨のため中止を余儀なくされ残念。しかし、事前にリニア中央新幹線の署名活動にも積極的に取り組み、「南アルプスの自然を壊しメリットはない。」との有意義な講演を聞くことができてよかったのでは。残念なことには、春山参加者11名と今までになく少なく、今後の課題となった。

(石野(博)記)

**教育部 奥穂高岳 5月1日～5日 CL高桑 SL高山 参加5名**

- 5/1 19:00 よしもと西梅田劇場前→01:30 あかんだな駐車場  
5/2 06:30 木村寛治合流→07:30 上高地バス停)→11:00 横尾テント設営  
5/3 08:00 撤収及び下。山と登山に各々出発→11:30 涸沢 テント設営  
5/4 05:30 出発→08:40 白出のコル→09:40 奥穂高岳→12:00 白出のコル  
12:00 奥穂高岳山荘→12:40 涸沢岳→13:00 奥穂高岳山荘→  
14:40 テント場  
5/5 05:30 撤収及び下山→08:30 横尾→11:00 上高地→11:30 あかんだな駐車場  
→12:10 平湯の森→13:00 出発→19:30 大阪駅前

令和元年即位の10連休の中、最適なアタック日を待ちに待って出発日を幾度か調整して、1日夜に出発

**2日** 早朝にあかんだな駐車場で木村寛治さんと合流して涸沢を目指すも上高地ではパラパラと雨と風があり、明日は登れてもいい天気かには不安。横尾までの道中で木村寛治さんの体調不良の申告があり、各小屋情報と天気図判断でアタック日は3日より4日の方が良好の判断で木村寛治さんを出汁に横尾でテ泊



**3日** いい天気だが時折りの風と稜線の雲の動きをみて4日アタックがベストの判断に間違いないとワクワクする。涸沢では撤収後の空テント地に少し手を入れるだけで快適なテ場をゲットでき楽チン設営で助かる。夜間には天の川や満天の星空。北斗七星ですら星が多く輝いて一瞬フム？と迷う。



タ  
収

**4日** 正しく快晴、無風の好天。逆にそよ風が欲しいくらいの贅沢日。あずき沢は雪崩の恐れで県警の指導によりザイデンの北側を登下降。人出は連休前の予報では後半も良くないためと連休が長かったために分散されたのか、コル(2,983m)からの梯子、鎖場も混むことなく登れる。頂上(3,190m)では槍や白山、富士山まで展望できる超絶景に酔いしれる。コルに戻ってからおまけで涸沢岳(3,110m)に登る。取り敢えず3千m峰2座をゲット。下山は尻セードを駆使してテ場に戻るも食料計画では3日目の食材は十分でないのでヒュッテ小屋のテラスでビールと小屋食で乾杯する。



**5日** 予定通りに横尾、上高地、平湯温泉を経て帰阪する。憂慮していた渋滞も中部縦貫道で一部あったものの19時過ぎには帰阪。(高桑 記)

サロン 奈良の平城京跡 5月3日 L 森下 参加9名

臨時バスを降りると、そこは天平の世界。男性も女性も、原色の綺麗な色の天平ファッションで、三々五々と歩いて居る。11時から天平行列が有るとの事。聖武天皇を中心にした歴代の天皇とお付の貴族達が、朱雀大路を行列する様に、見入ってしまう。遣唐船やいざない館を見学するが、回り切れない。

北側の方は人が少ない。南門は復元工事中、3年後完成予定。大極殿の高御位の神々しさ、大柱のチョウナの芸術性の美しさに、心を奪われつつも、平城京跡資料館を見学して、帰路につきました。(宇野 記)

土曜山行 堂満岳 5月11日 L 入山 参加21名

JR大阪駅7:45発(新快速敦賀行)⇒JR比良駅8:58着⇒江若バス9:10発⇒9:22イン谷口9:33～10:15ノタノホリ～12:20堂満岳山頂12:25～12:40分岐で昼食13:10～13:32金糞峠～14:15北比良峠14:25～15:03カモシカ台15:10～15:45大山口～16:10イン谷口

(解散)16:40発江若バス⇒16:52着JR比良駅17:06発湖西線

シャクナゲを求めて堂満東稜道を登り、堂満岳から北比良峠へ。ノタノホリではモリアオガエルの鳴き声も聞こえて来ました。お目当てのシャクナゲも満開、イワカガミの群生も多くあり、晴天の下で楽しい山行に成りました。ゆっくりした歩調を心掛けたので、堂満岳の急登も比較的楽に登る事が出来ました。

(入山 記)

教育部 きたろうハイキングABC 山行報告書 L 高桑

【山行日】2019年5月12日(日) 【場所】西宮 甲山【参加者】12名  
(高桑, 木村順, 高橋, 森庸, 松本光, 南, 児玉, 森幾, 川井, 北, 志知, 井上)

【コース記録】

09:00 阪急仁川駅— 12:00 森林公園レストハウス — 14:00 展望台岩場—  
15:10 甲山頂上 — 16:30 阪急甲陽園5

【内容】

- ・ハイキンABCの読み合わせ
- ・コンパスの使い方
  - ① 進むべき方向の設定、② 現在地を知る方法、③ 目標物を知る方法
- ・歩き方の姿勢の練習
- ・初心者の方の山の疑問について

## 【感想】

教育部の講習ではいつの日以来かと思うほどの好天に恵まれ、講習にはもったいない気もするが、上記カリキュラムをみっちり講習できた。

理解度の感想では100%や33%、10%と幅はあるが、少なくともコンパスで何ができるかは全員が理解できたと思う。（実際の取扱い方法とは別）

また、歩き方のプチ講習や靴ヒモの結び方、用具の取扱い方などに驚きの眼で受講されて、ヤル方も新人にはこんなところにも興味のツボがあるのかと発見できいい意味で楽しかった一日でした。  
(高桑 記)

## ウイークデイ 雨森山 5月14日 CL山口 SL川井 参加5名

阪急梅田駅8:40発→日生中央駅9:34着 9:50スタート～内馬場集落～  
10:30登山口～11:30雨森山(昼食)12:00～第三広場～12:10第二広場～第三  
広場～雨森山～13:10登山口～13:50日生中央駅→15:00梅田駅 解散

山行前日の天気予報では曇り、17:00以降50%の降水確率だったので決行と決定し、前日にホームページ掲示板にその旨を掲載しましたが、天候をあやぶんで参加者が少ないのではの予想は的中し、5人での山行となりました。午前中は晴れ間がのぞく中、フジ、キリ、ツツジ、ウツギなどの花にも出会え、また今まで見たことのない異様な虫に遭遇し、5人で興味津々虫に見入ったり、和気あいあいと山頂に到着。展望の良い山頂広場で昼食を終えた頃に雨が降り出し、滑らないように留意しながら無事下山。倒木が数カ所あり、道も荒れていましたが、里山風景を眺め、ウグイスの鳴き声をずっと耳にしながらの、山頂までのピストンハイクでした。

尚、参加者のSさんより、今後、『天候が微妙で山行があるか否か判断に困る場合は、前日に掲示板をご覧になり確認してください。』等の文言を、案内文に添えればいいのか！とのご指摘をいただき、良い提案だと思いました。

(川井 記)

## 有志山行 みたらい溪谷 観音峰山 4月28日 曇り17度

CL松本(光) SL南一般1名参加3名

天王寺駅7:30発(自家用車)→洞川温泉センター10:00→観音峰登山口(10:50)→み  
たらいの滝11:00→観音峰登山口12:30→観音平13:40→観音峰展望台14:15→観音  
峰山14:30→法力峠16:00→稲村ヶ岳登山口16:40→洞川温泉センター17:40着  
活動時間7時間40分 距離16km

洞川温泉センターより観音峰登山口まで林間、舗装路歩く。みたらいの滝観賞後  
昼食、観音峰登山口目指す登山者まばら。観音峰山まで急騰続く法力峠までピーク  
の連続、テープあるが踏み跡ない所あり多少崩落、倒木あり法力峠からは急な斜面

あるが歩きやすい。今回は交通機関だと交通費が高くなるので自家用車での山行、洞川温泉センターにて車を駐車し山行し温泉センターで入浴予定でした。計画段階では、ゆるい登山だと思い計画しましたが実際歩くと中々のもんでした。観音峰山からの登山者はほとんど居なく3人だけでした。会としての山行なら天川川合バス停から洞川温泉バス停がベスト、GW前半の良い訓練になりました。

(松本光 記)

## 有志山行 剣山、石鎚山 5月3日～5日

CL 松本(光)、南 他会1名、一般5名 計7名

5/3 難波 15:00 発(自家用車)ー見ノ越駐車場 21:00 着(車中泊、テン泊)ー5/4

見ノ越駐車場 6:00 発ー西島 7:00ー刀掛 7:30ー剣山ヒュッテ 7:50ー剣山山頂 8:00

ー次朗笈峠 8:30ー次朗笈 9:00ー次朗笈峠 10:00ー西島 10:40ー見ノ越駐車場 10:50

着ー石鎚山ロープウェイ 16:30ー石鎚神社中宮成就社 17:00(旅館泊)5/5 石鎚神社中

成就社 6:45 発ー八丁坂鞍部 7:00ー一軒茶屋 8:00ー夜明峠 8:30ー試しの鎖 9:00ー

二ノ鎖、三ノ鎖ー石鎚山山頂 9:30ー天狗岳 10:00ー夜明峠 11:50ー一軒茶屋 12:10ー

八丁坂鞍部 13:00ー石鎚神社中宮成就着 13:20ー帰阪

今回山行は府連の夏と冬のセミナー25期のメンバーでの初の7名揃いの有志山行でした。15時に大阪を出て6時間、途中狭い峠道を進み見ノ越駐車場へ。テントを張りつかの間の少パーティー。夜空は手の届くぐらいの星空に感動、翌朝には見ノ越を出発し、次朗笈を楽しみにしながらも剣山山頂、そして次朗笈は快晴ので新緑で写真や画像と変わらぬ綺麗な尾根筋に見とれたり撮影する人達。その後一旦下山し、石鎚山へ鎖場の登りはロープウェイの動く時間前に出発したので落ち着いて登れ、ときおり頂上で御来光を頂上で見た人よすれ違ふ。石鎚山山頂に着き、念願の天狗岳へ無風で快晴でしたが往来する人も少なく、途中の絶壁から覗くと少し恐怖感が。登頂は2名だけでしたがビデオで撮影してくれたり石鎚山頂から手を降ってくれたり、とても記念となる山行でした。それと帰りに寄った坂出での牛すじコンうどんは絶品で帰宅途中のも食べたくなるうどんでした。

(松本光 記)